

**2017年度**

**青山学院大学大学院  
国際マネジメント研究科  
国際マネジメント専攻  
専門職学位課程（MBA）**

**学生募集要項**

**A B S**  
Aoyama Business School

**Aoyama Gakuin University**

## 青山学院教育方針

青山学院の教育は  
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、  
神の前に真実に生き  
真理を謙虚に追求し  
愛と奉仕の精神をもって  
すべての人と社会とに対する責任を  
進んで果たす人間の形成を目的とする。

## 青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、  
神と人ともに仕え社会に貢献する  
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。  
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって  
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。  
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。  
本学のすべての教員、職員、学生は、  
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、  
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

### 個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、電話番号、生年月日等の個人情報  
は、①出願受付、②入学試験実施、③合否発表、④入学手続とこれに付  
随する業務を行うために利用します。

## 1. 国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻の教育研究上の目的

国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻は、キリスト教の教育理念に基づき、社会的責任を果たし、地球市民として活動する、創造的リーダーを養成することを目的とする。

## 2. 国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻のアドミッションポリシー

国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻は、以下のような能力・意欲等を持った入学生を求める。

1. グローバルな視野を持ってビジネスを行う。
2. ビジネスパーソンとしての責任を果たす。
3. 自らのビジネスの課題を設定し、解決する。
4. 論理的に物事を考える。
5. 自らの意思を的確に表現する。
6. 豊かな創造性を持ってビジネスを展開する。
7. 組織のリーダーとしての役割を果たす。

「カリキュラムポリシー」、「ディプロマポリシー」は以下の本学 Web サイトに掲載しています。  
(国際マネジメント専攻 URL)

[http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate\\_abs/management/policy.html#anchor\\_purpose](http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_abs/management/policy.html#anchor_purpose)

## 3. 国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻の修了要件

- ① 標準修業年限 2 年以上の在学。
- ② 所定の 50 単位以上の修得。
- ③ 英語能力の認定 (TOEIC 730 点以上の取得をもってこれに代える)。

※ 上記の修了要件は、2016 年度入学生用のものです。2017 年度入学生用の修了要件は、今後変更する場合があります。

## 4. 授与学位

経営管理修士 (専門職) Master of Business Administration (M.B.A.)

## 5. 募集種別

### (1) Full-time MBA

出願資格を満たす者で、専ら昼間授業を履修する者。  
(職業実務経験の有無を問わない。)

### (2) Flex-time MBA

出願資格を満たす者で、出願の時点で企業等組織に勤務し、入学時までに3年以上の職業実務経験を有し、専ら夜間授業(平日夜および土曜日)を履修する者。

## 6. 募集人員

募集人員：100名

## 7. 審査方法

「書類審査」および「面接審査」

(出願者全員に「書類審査」および「面接審査」を行う。)

## 8. 出願資格

### (1) Full-time MBA

専ら昼間授業を履修する者で、下記のいずれかに該当する者。(職業実務経験の有無を問わない。)

1. 大学を卒業した者及び2017年3月卒業見込みの者。
2. 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2017年3月取得見込みの者。
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2017年3月修了見込みの者。
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2017年3月修了見込みの者。
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2017年3月修了見込みの者。
6. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

及び2017年3月修了見込みの者。

7. 文部科学大臣の指定した者。
8. 本専門職大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者。

- ※注意 (1) **上記4.～8.により出願を希望する者**は、必ず、P.5「9. 出願資格審査」に従って審査を受けてください。
- (2) 本研究科での講義の大部分は日本語で行われるため、日本語でのコミュニケーションや受講にさしつかえないレベルの日本語能力が必要です。

## (2) Flex-time MBA

出願の時点で企業等組織に勤務し、入学時まで3年以上の職業実務経験を有し、専ら夜間授業(平日夜および土曜日)を履修する者で、下記のいずれかに該当する者。

1. 大学を卒業した者及び2017年3月卒業見込みの者。
2. 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2017年3月取得見込みの者。
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2017年3月修了見込みの者。
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2017年3月修了見込みの者。
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2017年3月修了見込みの者。
6. 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2017年3月修了見込みの者。
7. 文部科学大臣の指定した者。
8. 本専門職大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、25歳に達した者。

- ※注意 (1) **上記4.～8.により出願を希望する者**は、必ず、P.5「9. 出願資格審査」に従って審査を受けてください。
- (2) 本研究科での講義の大部分は日本語で行われるため、日本語でのコミュニケーションや受講にさしつかえないレベルの日本語能力が必要です。

## 9. 出願資格審査

Full-time MBA、Flex-time MBA とともに P.3～4 「8. 出願資格」 4.～8.のいずれかにより出願しようとする者は、出願書類を提出する前に出願資格認定のための審査を受ける必要があります。この場合、事前に専門職大学院教務課国際マネジメント研究科担当に連絡し、下記申請期間内に次の書類を提出してください。

- 提出書類： (1) 入学志願・調査票（所定用紙 No.1）  
(2) 最終学歴の成績証明書  
(3) 最終学歴の卒業証明書あるいは在籍証明書  
(4) 出願資格審査申請書（様式は任意）  
学習歴・実務経験・研究歴等を記載し、記載内容を証明する書類や資料がある場合は、添付してください。

※ 【出願時注意事項】 P.8 (7) (8) (9) を確認してください。

※ 提出書類は必ず書留郵便とし、出願資格審査書類在中と朱書きしてください。

(1) ～ (3) については、出願資格審査認定後、出願書類として取り扱いますので、出願時に再提出する必要はありません。

※ 出願資格審査申請期間

試験日	申請期間<最終日必着>	回答日
2016/10/10(月)祝日	2016/8/26(金)～2016/9/1(木)	2016/9/7(水)
2016/12/10(土)	2016/10/28(金)～2016/11/4(金)	2016/11/10(木)
2017/2/18(土)	2017/1/6(金)～2017/1/13(金)	2017/1/19(木)

※ 書類提出先

青山学院大学学務部専門職大学院教務課 国際マネジメント研究科担当  
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 電話 03-3409-8025 (直通)

## 10. 出願書類

Full-time MBA、Flex-time MBA ともに必須 ① ～ ⑥

Flex-time MBA のみ必須 ⑦

Full-time MBA、Flex-time MBA ともに随意提出 ⑧

### 【必要提出書類】

出願時に必ず提出する書類。

① 入学志願・調査票（所定用紙 No.1）

② 写真票・第二送付先用ラベル（所定用紙 No.2）

③ 最終学歴の学部卒業（見込）証明書または大学院修了（見込）証明書

④ 学部成績証明書（大学院修了（見込）者は、大学院成績証明書も加える）

※編入学している場合は、もとの大学の成績証明書も提出すること。

※外国の大学を卒業した者は、卒業証明書の他に「学位取得証明書」も併せて提出すること。

③や④に学位の記載がある場合は不要です。

⑤ 課題レポート

志望理由・課題レポート（所定用紙 No.3 の課題レポート表紙をつける）

テーマ：次の2題について記述しなさい。

1. 本学ビジネス・スクールへの入学志望理由について記述し、とくに MBA の取得を自分のキャリアにどのように生かそうと考えているか述べなさい。
2. 過去に経験した仕事または生活において直面した最も大きな試練は何であったか、それをどのように克服してきたか、また現在ならそれをどのように解決しようとするか述べなさい。

（ Full-time MBA 出願者で、職業経験のない方は、これまでの勉強やサークル活動、趣味、ボランティア活動などでの経験を対象に考えてください。）

（注）各問それぞれを A4 用紙2枚以内に日本語または英語でワープロソフトを使用して作成し2題分まとめてホチキス留めをして提出のこと。（レポートは必ず志願者本人が作成すること。他者が作成したことが判明した場合は、合格を取り消します。）

⑥ 入学検定料支払書類貼付用紙（所定用紙 No.4）

P.9「12. 入学検定料」に従って検定料を納入し、所定用紙を提出してください。

納入方法は、日本国内の銀行窓口（ゆうちょ銀行を除く）からの振込み（所定用紙 No.5 を使用）、コンビニエンスストアでの支払い、クレジットカードを利用した支払いの3種類があります。

⑦ 【Flex-time MBA のみ必須】 在職および3年以上の実務経験を有していることを証明するもの

出願の時点で企業等組織に勤務し、入学時までに3年以上の職業実務経験を有していることを証明できる以下のいずれかの書類。

1. 在職証明書（本人氏名、社名、公印があり、3年以上の在職期間が明示されているもの）
2. 健康保険証の写し（本人氏名、社名があり、3年以上の在職期間が明示されているもの）
3. 社員証の写し（本人氏名、社名があり、3年以上の在職期間が明示されているもの）

※現在勤務する企業等組織での在職年数が3年に満たない場合は、それ以前の職業実務経験を証明する以下のいずれかの書類を併せて提出すること。

- 1) 退職証明書（本人氏名、社名、公印があり、在職期間が明示されているもの）
- 2) 年金記録やねんきん定期便等の写し（本人氏名、社名、在職期間が明示されているもの）

上記以外の書類で証明しなければならない場合は、専門職大学院教務課（03-3409-8025）へ問い合わせること。

#### ⑧随意提出資料一覧（所定用紙 No.6）

「随意提出資料」として同封するものについて、必要事項を記入すること。

#### 【随意提出資料】

自己の学力および能力を証明するため効果的と思われる以下のような資料（書類に限る）があれば、提出してください。提出は自由です。提出する場合は、必ず、随意提出資料一覧（所定用紙 No.6）に必要事項を記入のうえ、ホチキス留めをして提出してください。

##### ①語学能力の証明書（コピー可）

- ・ TOEIC（Test of English for International Communication）
- ・ TOEFL（Test of English as a Foreign Language）
- ・ IELTS（International English Language Testing System）
- ・ 日本語能力試験（Japanese Language Proficiency Test）

（公益財団法人日本国際教育支援協会にて実施）等の成績

##### ②GMAT（Graduate Management Admission Test）の成績（コピー可）

##### ③職務経歴書

##### ④推薦書（所定用紙 No.7）

- ・ 別紙で用意されたものは、必要事項を記入した所定用紙 No.7 を表紙としてホチキス留めしてください。
- ・ 複数の推薦書を提出する場合、所定用紙 No.7 をコピーしてお使いください。
- ・ 厳封されている場合は開封せず、必要事項を記入した所定用紙 No.7 にホチキス留めして提出してください。
- ・ 記入者から本学に直接送付される場合、事前に専門職大学院教務課（03-3409-8025）までご相談ください。

##### ⑤勤務する企業に就学支援制度があり、その制度を本研究科での就学に利用できる場合は、その支援内容と支援決定のプロセスが分かる、企業が作成したパンフレット・資料等（コピー可）



- ⑥自己 PR 書
- ⑦各種資格の取得証明書（コピー可）
- ⑧発表論文（コピー可） 等

#### 【出願時注意事項】

- (1) 提出された書類等の返却はいたしません。
- (2) 出願書類に、不足及び内容に不備があった場合には受け付けません。
- (3) 自己の学歴を証明する証明書については、必ずオリジナル（原本）を提出してください。  
なお、提出した各種証明書の返却を希望する場合は、必ずオリジナル（原本）を専門職大学院教務課に直接持参のうえ、窓口で原本照合済の承認印入りコピーを受け取り、出願に使用してください。
- (4) コピー可との表記があるもの以外は、オリジナルを提出してください。なお、コピーで提出されたものは、入学後、原本照合をおこなう場合があります。
- (5) 改姓等により、証明書等の記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、志願者にかかわる証明書として確認できませんので、氏名変更（改姓等）の事実が確認できる公的証明書（戸籍抄本等）を必ず提出してください。
- (6) 提出書類に偽造や記述の内容に虚偽又は著しい誇張があった場合は、合格・入学を取り消します。
- (7) 提出書類は全て日本語又は英語で記載されているものとします。
- (8) 日本語もしくは英語以外の原語で記載されている書類については下記の 1)～3) の手順に従ってください。手順に従わない場合や、日本語もしくは英語以外の原語で記載されている書類は一切受け付けません。
  - 1) 提出する書類を日本語もしくは英語に翻訳してください。
  - 2) 原本と翻訳した書類を当該国の大使館（又はそれに代わる公的機関）へ提出し、翻訳された内容が原本と相違ないことの証明を受けてください。
  - 3) 上記公的機関より発行された証明書を各書類に添付して提出してください。  
※大使館等公的機関での証明は、その取得に時間を要しますので注意してください。  
※中華人民共和国など、在日本大使館にて翻訳の公証業務を行っていない国・地域もありますので、大使館等のホームページ等で確認してください。
- (9) 外国籍の人の本人氏名は、必ず住民票またはパスポートに記載された氏名を記入してください。また、通称名は使用しないでください。

## 11. 出願方法

出願の際は、あらかじめ検定料を出願期間内に振り込んだ上、「10. 出願書類」（「必要提出書類」・

「随意提出資料」を一括し、本学所定の宛先用紙（所定用紙 No.8）を貼付したA4 版封筒を用い、P. 10「13. 出願期間および入学試験日等」の出願期間（締切日必着）内に、必ず、書留速達郵便で送付してください。（専門職大学院教務課の窓口では受け付けません）

※所定用紙 No.8 は、カラーで印刷してください。カラーで印刷できない場合は、上部「■速達■」部分を赤線で囲んでください。

送付先：〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学学務部専門職大学院教務課「国際マネジメント研究科」入学願書受付係

※ 出願書類に不備があった場合は、受験できないことがありますので漏れのないよう点検して送付してください。

※ 提出書類に偽造や記述の内容に虚偽又は著しい誇張があった場合は、合格・入学を取り消します。

この場合、一旦納入された入学検定料、学費等及び出願書類、入学手続書類等は返還しません。

※ 締切日を過ぎて到着したものは受理せず返送します。

## 12. 入学検定料

**35,000 円（2016 年度本学学部卒業（見込み）者 18,000 円）**

**\* 出願期間内に振り込んでください。**

- (1) 入学検定料の納入は、銀行の窓口での振り込み、大学が指定するコンビニエンスストアでの支払い、クレジットカードを利用したの支払いのいずれかの方法を選んでください。
- (2) 出願書類受付後は、入学検定料は返還いたしません。入学検定料の振り込みだけで出願しなかった場合は、専門職大学院教務課にて返金手続きをしてください。

### 【銀行からの振り込み】

- (1) 所定用紙 No.5 に必要事項を記入し、日本国内の銀行窓口（ゆうちょ銀行を除く）より電信扱いにて振り込んでください。ゆうちょ銀行、ATM、インターネットバンキング等では振り込めません。
- (2) 所定用紙 No.5 は、切り離さず銀行に持参し、振込終了後、「振込通知書（出願書類添付用）」と「振込金（兼手数料）受取書（本人控）」を受け取り、それぞれに銀行の収納印が押されていることを確認してください。無いものは無効となります。その後「振込通知書（出願書類添付用）」を切り取って「入学検定料支払書類貼付用紙」（所定用紙 No.4）に貼り付け、他の出願書類とともに提出してください。「振込金（兼手数料）受取書（本人控）」は領収書となりますので、各自で保管してください。

- (3) 振込手数料は、振込人負担となります。

**【コンビニエンスストアでの支払い】**

- (1) 「セブン-イレブン」「サークル K・サンクス」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」の5つのコンビニエンスストアから納入できます。コンビニエンスストア店舗の端末にて申し込み後、レジにて支払います。詳細はP.17「コンビニ端末での入学検定料支払方法」を参照してください。
- (2) 入学検定料支払い後に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取って「入学検定料支払書類貼付用紙」（所定用紙 No.4）に貼り付け、他の出願書類とともに提出してください。
- (3) 入学検定料の他に手数料が別途かかります。

**【クレジットカードでの支払い】**

- (1) P.18「クレジットカードでの検定料支払方法」に従ってお支払いください。
- (2) 支払い決済後に発行される「取扱明細書」の「収納証明書」の部分を切り取って「入学検定料支払書類貼付用紙」（所定用紙 No.4）に貼り付け、他の出願書類とともに提出してください。
- (3) 入学検定料の他に手数料が別途かかります。

**13. 出願期間および入学試験日等**

選考方法：「書類審査」および「面接審査」

出願期間<最終日必着>	面接審査	可否発表<郵送>	手続期限<必着>
2016/9/8(木)~2016/9/21(水)	2016/10/10(月)祝日	2016/10/13(木)	2016/10/28(金)
2016/11/11(金)~2016/11/24(木)	2016/12/10(土)	2016/12/15(木)	2017/1/6(金)
2017/1/20(金)~2017/2/2(木)	2017/2/18(土)	2017/2/20(月)	2017/3/3(金)

※面接審査日の集合時間は、受験票に記載し通知します。

**14. 受験票の送付について**

- (1) 日本国内に居住の方

受験票は、原則として入学志願・調査票に記載した住所に送付します。異なる住所への送

付を希望する場合は、第二送付先用ラベル（所定用紙 No.2）に送付を希望する住所を記入してください。（※1）

（2）日本国外に居住の方

受験票の送付先は、日本国内としております。日本国外に居住の方は、必ず、承諾を得た上で、日本国内の親類、知人などの住所を、受験票の送付先として第二送付先用ラベル（所定用紙 No.2）のラベルに記入してください。日本国内の送付先がない場合は、電話にて専門職大学院教務課国際マネジメント研究科担当（03-3409-8025）にお問い合わせをしてください。（※1）

※1 受験票は、面接審査日の一週間前に郵送しますので、審査日の前々日までに受験票が手元に届かない場合は、電話にて専門職大学院教務課国際マネジメント研究科担当にお問い合わせをしてください。

## 15. 入学試験場

入学試験の面接審査は青山学院大学青山キャンパスで実施します。

送られてくる受験票の地図に従って、入構・入館してください。

面接控室、面接室は、試験当日に掲示します。

## 16. 合否発表

合否発表は、全て郵送にて行います。合否発表日に、入学志願・調査票に記載された住所に郵送します。支障のある方は、専門職大学院教務課国際マネジメント研究科担当（03-3409-8025）までお問い合わせください。

合格者には「入学手続要項」を同封しますので、要項にそって定められた期間内に入学手続を完了してください。

## 17. 入学手続

入学試験合格者は、P.10「13. 出願期間および入学試験日等」に記載されているそれぞれの入学手続締切日までに入学手続を完了してください。入学手続はすべて郵送により受け付けます（締切日必着）。締切日を過ぎて到着したものは受理せずに返送します。

なお、入学手続に関する詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」をご覧ください。

## 18. 「入学辞退願」提出について

本大学院に入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が2017年3月31日(金)午後4時までに受理されたものは、入学金を除く納付金を返還いたします。

詳しくは、合格者に送付する「入学手続要項」をご覧ください。

## 19. 学費等

入学手続時には、以下の金額を納付していただきます。詳しくは、合格者に送付する「入学手続要項」をご覧ください。

### 【入学手続時納付金】

費 目		金 額	備 考
学 費	入 学 金	290,000 円	入学時のみ ①
	授 業 料	416,500 円	年額 833,000 円 (後期分 416,500 円は後期納入)
	施 設 設 備 料	100,000 円	2年次は 100,000 円を納入 ②
	教 育 活 動 料	250,000 円	毎年納入
	(小 計)	1,056,500 円	
諸 会 費	後 援 会 費	5,000 円	毎年納入
	◎ 校 友 会 費	15,000 円	入学時のみ (但し本学出身者は免除) ③
	国際マネジメント学会費	5,000 円	毎年納入
	(小 計)	25,000 円	
<b>入学手続時納入金合計</b>		<b>1,081,500 円</b>	
初年度納入金合計		1,498,000 円	(後期分学費 416,500 円含む)

(消費税は課税されません)

◎印の校友会費は、退学、除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還をうけることができます。

### 備 考

1. 本学の出身者は、上記備考欄の①、②、③については次のとおりとします。

①入学金 2016年度本学学部卒業(見込)者は 72,500 円(一般入学者の 1/4)

本学大学院修士(博士前期)課程修了又は修了見込者は 145,000 円(一般入学者の 1/2)

②施設設備料 2016年度本学学部卒業(見込)者は 50,000 円(初年度のみ一般入学者の 1/2)

③校友会費 本学出身者は納入不要

2. 本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が2017年3月31日(金)午後4時までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還いたします。詳しくは、合格者に送付する入学手続要項をご覧ください。
3. 学費等の改定について  
今後、経済事情に応じ、学費等の改定が行われた場合には、在学生にも新学費等を適用することがあります。
4. その他  
後期分授業料は、入学後、後期に納入してください。なお、入学手続時に後期分授業料を併せて納入することもできます。

## 20. 奨学金と教育ローンについて

### ○奨学金

貸与奨学金には、日本学生支援機構奨学金と青山学院万代奨学金があり、入学時(4月)に奨学金募集説明会を開催しています。連帯保証人および保証人を必要とします(日本学生支援機構奨学金は機関保証制度もあり)。返還は貸与終了の翌月から数えて7か月目に開始されます。

<貸与月額>

**日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)** : 月額5万円または8万8千円

**日本学生支援機構第二種奨学金(有利子)** : 月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円

**青山学院万代奨学金(無利子)** : 月額8万5千円

※日本学生支援機構第一種奨学金には「特に優れた業績による返還免除」制度があります。在学中に特に優れた業績を挙げたと日本学生支援機構が認定した場合に、貸与終了時に奨学金の全部または一部が免除される制度です。本研究科では年に1、2名程度がこの適用を受けています。

給付奨学金には、以下のものがあります。

**「青山学院大学経済支援給付奨学金」** : 経済支援を必要とする学生若干名に年間学費相当額を限度として給付。

**「青山学院スカラーシップ」** : 入学後に募集され、給付額は15万円から30万円を給付。

※外国籍の方は、それぞれの奨学金ごとに申込資格に制限があります。申請時に確認してください。

また、私費外国人留学生(=ビザステイタス:「留学」)の方は以下のサイトもご覧ください。

[http://www.aoyama.ac.jp/life/expenses/scholarship/burse\\_foreigner.html](http://www.aoyama.ac.jp/life/expenses/scholarship/burse_foreigner.html)

このほか、国際交流センターで扱う留学生向け奨学金の情報は以下のサイトを確認してください。

<http://web.iec.aoyama.ac.jp/shihi/scholarship.html>

## 青山学院大学・銀行提携「教育ローン」についてのご案内

本学には、学部生・院生を対象とした銀行提携「教育ローン」制度があります。

この制度は、青山学院と銀行が特別に提携し、一般の教育ローンより有利な条件を設定したものです。  
青山学院大学で学ぶ意志がありながら、経済的理由により修学を断念することのないよう  
在学中の経済的な不安を解消し、勉学に専念できるよう配慮した経済支援制度です。

### 〔特徴〕

1. 一般の教育ローンより低金利で融資を受けることができます。
2. 在学期間中の元金返済措置の制度もあります(在学中は利息のみを支払い、卒業後、元利を併せて返済することができます)。

### 〔利用資格〕

本学に入学を許可された学生の保護者(または本人)で銀行の定めた資格を有することが必要です。

### 〔利用方法〕

1. (1) 「教育ローン」の利用を希望する場合は下記必要書類を整えた上で、事前に提携銀行で融資可能かどうかの審査を受けて下さい(審査には2週間程度の期間が必要です)。

(必要書類)

- ・資金使途確認資料……………受験票、入学手続金確認資料(入学募集要項他)  
(合格後に審査を受ける場合…学費納付書、学費受領証等(入学手続要項他))
- ・本人確認資料……………印鑑証明書、住民票、運転免許証、健康保険証の写し等の  
いずれか一通
- ・所得確認資料……………所得証明書、源泉徴収票等のいずれか一通

- (2) 融資可能となれば合格証明書を提示して融資実行となります。

合格証明書発行部署:文・教育人間科学・経済・法・経営・国際政治経済・総合文化政策学研究科は学務部教務課(青山キャンパス17号館2階)

専門職大学院は専門職大学院教務課(青山キャンパス17号館2階)

理工学・社会情報学研究科は学務課(相模原キャンパスB棟1階)

2. 入学時手続金等を自己資金で納入した後でも、一定期間内であれば融資を受けることができます。

### 〔注意事項〕

1. 契約はすべて銀行と融資を受ける者が行い、融資は学費(授業料他)等の教育資金に限ります。
2. 銀行による、大学以外の機関の融資ですから返済を考えて慎重に判断してください。
3. 銀行によって融資条件・金利等の契約内容に若干の差がありますので、契約する銀行に直接照会してください。

#### 〔取扱い銀行 代表お問合せ支店〕

- ・ 三井住友銀行 全国の支店
- ・ みずほ銀行 渋谷中央支店 ローン担当係 TEL 03-3462-0313
- ・ 三菱東京UFJ銀行 全国の支店

青山学院との提携以外にも下記記載の公共機関等による教育ローンもあります。

#### 〔国の教育ローン〕

本学に入学・在学する学生・保護者の方は、日本政策金融公庫(国民生活事業)の「国の教育ローン」を申し込むことができ  
申込条件等の詳細については、教育ローンコールセンターに直接お問合せください。

日本政策金融公庫(国民生活事業)教育ローンコールセンター

TEL:0570-00-8656(月～金9:00～21:00 土9:00～17:00)

日本政策金融公庫(国民生活事業)ホームページ

<http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>



## 21. 「専門実践教育訓練給付金制度」についてのご案内

労働者や離職者が、自ら費用を負担して、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。

ABS の国際マネジメント専攻“Flex-time コース”は、厚生労働大臣より、専門実践教育訓練教育施設として指定を受けました。

本専攻“Flex-time”コースに入学した正規生で、支給対象者（受給資格者）の条件を満たす学生は、ハローワークに申請することにより、青山学院大学に支払った教育訓練経費の一部（最大 96 万円）を給付金としてハローワークから受け取ることができます。

詳細は、以下の URL を参考にしてください。

<http://www.aoyamabs.jp/application/benefit.html>

## 22. 注意事項他

- (1) 一旦受け付けた書類及び入学検定料などは一切返還しません。
- (2) 卒業（学士学位取得）見込で出願していた者で、2017 年 3 月末日までに卒業または修了できなかった場合は、入学資格を満たせなかったこととなりますので、入学手続を完了していても本専門職大学院に入学することはできません。
- (3) 本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、並びに他大学および本学の学部と併せて在学することはできません（二重学籍の禁止）。
- (4) 身体の機能に障害があり、受験および就学上特別な配慮を必要とする方は、出願に先立って専門職大学院教務課に問い合わせをしてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求めることがあります。
- (5) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験者への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
- (6) 現在、本研究科において開講している科目には、人数制限をする科目（演習科目、500 番台科目他）や当該年度に休講する科目があり、また、時間割編成の関係やカリキュラム変更



よって、修了するまでに希望する科目をすべて履修できるとはかぎりません。

(7) 事務連絡先

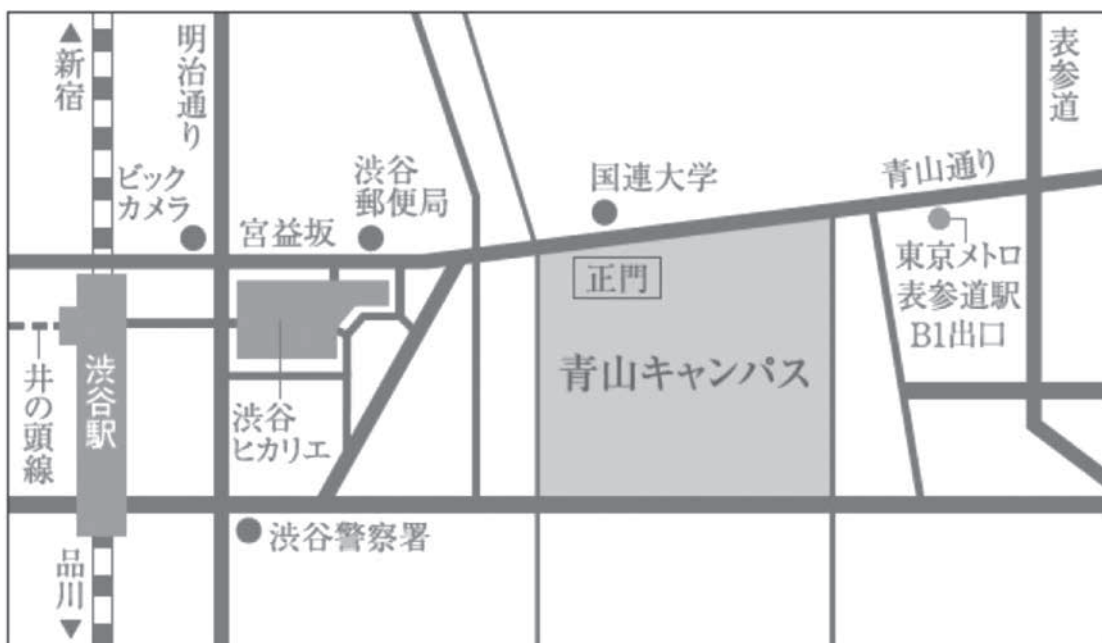
国際マネジメント研究科の受験、入学手続などに関する問い合わせは、すべて専門職大学院教務課に問い合わせをしてください。但し、面接内容や可否に関する問い合わせには一切応じられません。

青山学院大学学務部専門職大学院教務課 国際マネジメント研究科担当  
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25 電話 03-3409-8025 (直通)

## 青山キャンパス アクセスマップ

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

JR 山手線、JR 埼京線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ副都心線 他「渋谷駅」より徒歩 10 分  
東京メトロ（銀座線・千代田線・半蔵門線）「表参道駅」より徒歩 5 分



地の塩、世の光  
The Salt of the Earth, The Light of the World  
【青山学院スクール・モットー】

青山学院大学学務部専門職大学院教務課  
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25  
電話：03（3409）8025（直通）